
カエル！ジャパン通信 Vol.202 令和5年1月24日

発行：内閣府 仕事と生活の調和推進室

<<<今号の目次>>>

1. コラム 育児休業取得を進めるうえでのポイントとは

2. 最新情報

《お知らせ》 3件

《地方公共団体等の動き》 10件

■□■ 1. コラム ■□■

育児休業取得を進めるうえでのポイントとは

高村 静 さん

中央大学 戦略経営研究科 准教授

厚生労働省イクメンプロジェクト推進員。企業の職場における働き方、キャリア開発という課題に取り組む。

2022年10月から「産後パパ育休（出生時育児休業）」や「育児休業の分割取得」がスタートし、育児休業はさらにフレキシブルに取得できるようになりました。今回は職場で取得を進めるうえでのポイントについて高村さんに伺いました。

◆ツールを使用し、休業期間や仕事の分担等について具体的に話しあう

新制度で男性の育児休業がさらに広まるといいですね。男性の育児休業取得率の公表も今後求められるようになるので企業の取組も進むと思います。一方で、休業する人が増えると、職場のコミュニケーションが今以上に大切になると思います。社会的にハラスメントが注目されているせいか、「育児休業についてはよく分からないが、下手なことを言うと法律に触れるかもしれない」と、十分な対話や調整をせず、腫れ物に触れるように休業者に接するケースも耳にします。これでは、職場に残る周囲の人から不満がでるでしょうし、仕事の棚卸し・見直しするチャンスも逃がしてしまいます。

そうした事態を避けるため、先進的な企業のなかには、夫婦間や職場内で話し合うツールを提供する例もあります。夫婦用では家事や育児の分担、職場用では休業予定期間やその間の仕事分担を具体的にリストアップし、それをもとに周囲とコミュニケーションをとって合意したうえで休業に入る、休業明けには計画を振り返る機会を設けたりもしています。育児休業をきっかけに対話が生まれ、職場の働き方全体を見直すことにもつながる、非常に良い事例となっています。

◆世代による見方の違いは、知識をつけることで更新する

先ほどの「腫れ物に触るように接する」という態度の背景には、世代間の経験の違いから生じる育児休業に対する見方の違いがあるようです。上の世代では、「プライベートか仕事か」という2極タイプの見方があるかもしれませんが。しかし若い世代では、「プライベートも仕事も」というタイプも増えているように思います。ご自身の価値観とは異なるからと対話をあきらめてしまうと、優秀な人も切り捨ててしまう危険性があります。

上司である方々が、理解が難しいと感じることがあれば、そのような時こそ、これまでに培ってきたご経験のうえに新しい仕組みや知識を加えて、変化に積極的に対応することをおすすめしたいです。育児休業取得世代の考え方にあったロールモデルをつくることで、部下との信頼関係や会社への愛着も高まると思います。

◆育児休業は取得するものではなく“活用する”もの

厚生労働省の「イクメンプロジェクト」のミニリーフレットに「育児休業取得がパパの最初の仕事」というのがあります。育児休業は休んで遊ぶものではありません。パートナーの認識に不安があるママ、育児休業の取得の仕方や過ごし方に疑問があるパパ、皆さんには企業版両親学級への参加も役立つと思います。父親の育児休業がいかに重要かを知ることができます。

最後に、パパと同様に、ママである女性にも様々なキャリアがあります。自分やパートナーのキャリアを見つめ、家族として人生をさらに豊かに生きる一つのきっかけとしても、ぜひ育児休業を活用してください。

※厚生労働省イクメンプロジェクト

「企業版両親学級（オンラインセミナー）」1月28日（土）開催予定

<https://ikumen-project.mhlw.go.jp/event/index.html>

■□■ 2. 最新情報 ■□■

《お知らせ》

【内閣府男女共同参画局】

●ダイバーシティ・マネジメントセミナーを開催します！

内閣府男女共同参画局は日本経済団体連合会と共催して、ダイバーシティ・マネジメントセミナーを開催します。「職場における無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）への気づき」をテーマに、株式会社高島屋 代表取締役社長 村田善郎氏から、ダイバーシティ推進に対する考えや職場における無意識の思い込みに気づくための取組、今後の課題等について御講演いただきます。また、一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所 代表理事 守屋智敬氏から、無意識の思い込みに関する基礎知識や対処法等を御紹介いただくことを通じて、ダイバーシティ・マネジメントに対する理解を深めます。

経営者、管理者、ダイバーシティ担当者の皆さまをはじめ、どなたでも御参加いただけますのでぜひ御参加ください。

■セミナー概要

日 時： 令和5年2月20日（月）10:30～12:00

開催方法：オンライン配信（Zoom ウェビナー） ※事前申込制、参加費無料

詳しくは下記 URL を御覧ください。

<https://wwwa.cao.go.jp/wlb/event/meeting.html>

●令和4年度「男女共同参画週間」（6/23～29）キャッチフレーズ募集中！ 2/24（金）締切

毎年6月23日～29日は男女共同参画週間です。

令和5年度は、ユース世代（15～20歳）のみなさんから「男女共同参画社会の実現と女性活躍の推進に向けた、日本国内、国際社会へのメッセージ」となるキャッチフレーズを募集します。

2023年6月にG7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合が栃木県日光市で開催されます。

世界からの注目が集まるこの機会に、これからの時代を創り上げていくユース世代（15～20歳）の皆さんからの未来をイメージしたキャッチフレーズのご応募をお待ちしております。

最優秀作品に選ばれたキャッチフレーズは、令和5年度男女共同参画週間ポスターに使われます。

一緒に、男女共同参画社会を考えてみませんか？

詳しくは下記 URL を御覧ください。

<https://www.gender.go.jp/public/week/week.html>

【厚生労働省】

●「不妊治療と仕事との両立支援シンポジウム」等を配信中

これまでキャリアを積んできた女性社員が、不妊治療と仕事との両立に悩んで離職してしまうことは、企業にとって大きな損失であり、今後女性の管理職を育成し増やす取組を進めるためにも、不妊治療と仕事との両立支援は企業にとって喫緊の課題です。

厚生労働省は、不妊治療と仕事との両立支援について理解を深めていただくため、「不妊治療と仕事との両立支援シンポジウム」をオンラインで配信しています（参加無料）。不妊治療と仕事との両立に関する課題等についての産業医による講演や、当事者・企業・コンサルタントによるパネルディスカッションを内容としています。ぜひご視聴ください。

また、自社の従業員の不妊治療と仕事との両立を支援する人事労務担当者の方等を対象とした実務に関する研修会を9月から配信していますが、12月6日から、不妊治療と仕事との両立を支援する制度を導入した企業による講演や、不妊治療と仕事を両立した労働者の方へのインタビューも追加配信しています。

まだ研修会を視聴されていない企業の皆さまはもとより、既にご視聴された皆さまにおかれても、より一層参考にしていただける内容ですので、ぜひご視聴ください。

なお、配信している研修会は、不妊治療と仕事との両立に積極的に取り組む優良企業を認定する「プラス認定」（次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん認定」に昨年4月から新たに追加された認定制度）を取得する際の要件の一つである「企業内研修」としてご利用いただけますのでご活用ください。

<シンポジウム・研修会等の内容・視聴申込はこちら>

<https://www.funin-shigoto.jp/>

《地方公共団体等の動き》

(各事業の詳細はそれぞれの地方公共団体にお問い合わせください。)

【栃木県】

男性のワーク・ライフ・バランス講座

男性の暮らし方・意識の改革は、女性の活躍を推進するためにはとても重要なことです。男性の家庭・社会への積極的参加によって生じる男性自身・社会・女性にとってのメリット等を学び、暮らし方を見直すきっかけにしませんか？

日時：令和5年1月21日（土）13：30～15：30

場所：とちぎ男女共同参画センター 研修室 302

対象：どなたでも ※女性も参加いただけます。

定員：24名（先着順）

参加費：無料

申込締切：令和5年1月13日（金）

申込方法：Web、FAX、電話又は直接来館

https://www.parti.jp/kouza/index_kou03-2.html

【神奈川県】 川崎市

女性弁護士に聞く フリーランスで働く女性のためのトラブル回避講座

あいまいな契約、報酬の未払いや遅延、ハラスメント、著作権の扱い…。このような問題で悩んでいませんか？フリーランスで働く女性が安心して働き続けられるために、仕事を引き受ける上で知っておきたい重要なポイントを弁護士から学びましょう。

日時：令和5年2月18日（土）13：30～15：30（開場・受付 13：15～）

場所：川崎市男女共同参画センター（すくらむ21） 2階 第1・2研修室

対象：川崎市内在住・在勤・在学の方でフリーランスの仕事をしている女性、又はこれからフリーランスの仕事を始めたいと考えている女性

定員：24名（先着）

参加費：無料

申込方法：電話又は申込フォーム

<https://www.scrum21.or.jp/seminar/sc39702.html>

【神奈川県】 三浦市

今日から使える！「無意識な思い込み」に気づきより心地よい世界が整う方法～誰一人取り残さない、チルな関係性を築くために～

チルとは、心にハマる、偏見がなく自然体でリラックスできることを意味します。男女共同参画を当たり

前のこととして受け止めることができるようになると、チルな関係性が築けるようになり、みんなが生き生きできる社会になっていきます。自分の中にもある無意識な思い込みを見つめ、自分らしさやその人の魅力を引き出せる方法を一緒に学びませんか。

日時：令和5年1月28日（土）10：00～12：00（予定）

場所：初声市民センター 講堂

定員：50名（先着順）

参加費：無料

申込方法：電話、メール又はQRコード

申込締切：令和5年1月20日（金）

http://www.pref.kanagawa.jp/docs/x2t/kouza_event/kouza_event2022.html#a1

【富山県】

私の生活に活かすパソコン講座

お店や商品、活動のPRのために必要な、動画作成における基本的パソコンスキルを学び、実際に御自身がPRしたいお店や商品等の動画を作ってみませんか？

日時：令和5年2月22日（水）9：30～12：00

場所：富山県民共生センター 「サンフォルテ」4階 OA 研修室

定員：22名

対象：起業初心者、起業を目指す女性

男女共同参画推進の目的で活動している、NPO、団体

費用：1500円（材料費・資料代含む）

申込方法：インターネット又はFAX

<https://www.sunforte.or.jp/event/svEveDtl.aspx?servno=1194>

【長野県】

“あいとぴあ”さんかくセミナー第4回〈キャリア形成〉「南極ではたらく～かあちゃん、調理隊員になる～」開催のお知らせ

日時：令和5年1月21日（土）13：30～15：30

対象：県内在住、在勤、在学の方

受講方法：オンライン「Zoom ウェビナー使用」で受講

定員：パブリックビューイング/長野市会場 30名、駒ヶ根市会場 40名、東御市会場 50名、宮田村会場 30名、松川町会場 20名、池田町会場 30名（いずれも先着順）

参加費：無料

申込方法：オンライン受講（当日・期間限定後日配信）：ながの電子申請サービス

市町村サテライト会場での受講：ながの電子申請サービス又は電話

申込締切：令和5年1月12日（木）

<https://www.pref.nagano.lg.jp/aitopia/event/jigyo/050121sankakudai4kai.html>

【静岡県】袋井市

育児・介護休業法が改正され、男性の育児休業取得を促進するための制度「産後パパ育休」が創設。男性の育児・家事への積極的な参画が求められています。なぜ、今、男性の育休や家庭参画が必要なのでしょう？個人や御家族にとって、企業にとって、男性育休時代に求められる働き方（ワーク・ライフ・バランス）について、分かりやすくお伝えします。

日時：令和5年1月14日（土）13：30～15：00 ※開場は13：00～

場所：メロープラザ 多機能ホール、オンライン（Zoom ウェビナー）

定員：メロープラザ 150人、オンライン 250人 ※共に先着順・要申込

対象：関心のある方はどなたでも

参加費：無料

申込方法：電話、FAX 又は申込フォーム

<https://www.azarea-navi.jp/event/r50114/>

【滋賀県】

第5回 G-NET ほっとセミナー・女性リーダー選挙セミナー「女性の行進は議事堂に通ず～アメリカにおける女性議員増のメカニズム～」

子育て環境の充実や、健康管理、貧困問題への対応が進むなど、女性議員が増えることで様々な社会の変化が期待できると言われています。しかし、日本の政治分野における男女格差は146か国中139位（世界経済フォーラム）であり、女性の声が政治に届きにくい現状にあります。誰もが自分らしく、生き生きと暮らすためのヒントを学べる G-NET ほっとセミナーの5回目として、今回は「女性の政治参画」や、政治的リーダーシップの果たす役割について、近年のアメリカの事例をもとに考えます。広く県民の皆様や、地域社会等において各種実践活動を行っておられる女性の方、是非御参加ください。この国を「女性の声が政治に届く国」に！！Zoomでの御参加も可能です。

日時：令和5年1月27日（金）14：00～16：00（受付13：30～）

場所：滋賀県立男女共同参画センター“G-NET しが”研修室 BC ※Zoom オンラインでの御参加も可

対象：どなたでも

参加費：無料

定員：会場参加は30名（Zoomは50名）

申込方法：メール、FAX 又は電話

申込締切：令和5年1月20日（金）

<https://www.pref.shiga.lg.jp/g-net/seminar/307805/322359.html>

【京都府】

啓発冊子『男女共同参画通信』がオンラインで注文できます！男女共同参画やジェンダーにまつわる気になるトピックスを分かりやすく紹介する啓発冊子『男女共同参画通信』。通算50号を超える人気冊子の【オンライン注文】がスタートしました！冊子代無料&送料のみ御負担で全国に発送します。情報をコンパクトにまとめた一冊は、家庭や職場、学校などでの研修・学び直しにぴったり。是非御利用ください。

<https://www.wings-kyoto.jp/topics/tp-sankaku2207.html>

【大阪府】

●男女共同参画セミナー 人間関係の対立を解決するファシリテーションを学ぶ！

「人間関係の対立」を暴力以外で解決していく方法の1つとしてファシリテーションの手法を活用できないか？というテーマで、事例を元に議論を深め、「人間関係の対立」を解決するヒントを探ります。

日時：令和5年1月14日（土）13：00～17：00

対象：テーマに関心のある方

定員：24名

受講料：無料

申込方法：電話

<https://www.shisetsu-osaka.jp/shisetsu-nw/koza/detail.html?kozaId=50927>

●ロールモデルに学ぶ！働く女性のキャリアアップ研修（2/7）

社内にロールモデルや同じ立場の同僚がいない働く女性に向けて、他の企業で活躍する先輩から話を聞く機会や、他の企業で働く女性との交流の場として、本研修を開催します！

仕事へのモチベーションアップや、ご自身のキャリアを考えるきっかけに、また自社内におけるロールモデルを養成するきっかけにさせていただきますと幸いです。ぜひ社員の方へ本研修をご案内ください。

みなさまのご参加をお待ちしております！

（※ロールモデル=お手本となる人物）

日時：令和5年2月7日（火）14時から16時

会場：ドーンセンター 5階 視聴覚スタジオ

大阪市中央区大手前1-3-49（Osaka Metro 谷町線・京阪「天満橋」駅）

対象：大阪府内在住・在勤の就業中の女性

講師：板谷 由里子 氏（エスペック株式会社 マネージャー）

高島 公美 氏（関西テレビ放送株式会社 局長）

東山 奈津子 氏（株式会社デイリー・インフォメーション関西 執行役員）

定員：50人

参加費：無料

申込み：下記URLからお申込みください。（2月6日（月）16時まで）

<https://www.shinsei.pref.osaka.lg.jp/ers/input?tetudukiId=2022120107>

詳細：<https://www.pref.osaka.lg.jp/danjo/topic/index.html>

問合せ：大阪府 府民文化部 男女参画・府民協働課 男女共同参画グループ

TEL：06-6210-9321（直通）

E-Mail：danjo-fumin@sbox.pref.osaka.lg.jp

【高知県】

第5回ゆるりと学ぶ「女性支援新法」

令和4年5月に「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が成立しました。DVや性被害、貧困など様々な困難を抱える女性に関わる法律です。女性の抱える困難はいくつも絡み合っていることが多いと言われます。安心して歩み出すことができるようにと作られたこの法律で実際には私たちにとって何がどう変わのでしょうか。法律のプロに身近な言葉でゆくりと説明していただきます。

日時：令和5年1月16日（月）14：00～15：00

場所：ソーレ3階 研修室1、2 ※講座途中の入退室もOKです

対象：女性

参加費：無料

申込：不要

<https://www.sole-kochi.or.jp/info/dtl.php?ID=1928&routekbn=S>

【編集後記】

総務省「労働力調査」によると女性の労働力人口は増加傾向にあります。しかしながら男女における仕事や育児に対する価値観の非対称性は根強く残っています。

それらは世代間でも顕著で、東京都が行った調査（※）によると、「男性が家事・育児を行うことは、当然だと思う」と答えた割合は、男性では18歳～19歳が70.4%、20代が61.8%だったのに対し、60代は56.4%と低く、女性では30代が71%と最も高いのに対し、50代53%、60代58%でした。制度が整っても上司世代の価値観が変わらない限り、本当の意味での働きやすさにはつながりません。先入観を捨て、新しい価値観を受け入れることも時には必要なのではないでしょうか。

※東京都「男性の家事・育児等参画状況実態調査報告書（令和3年度）」より

本メールは送信専用メールアドレスから配信されております。

このまま御返信いただいてもお答えできませんので御了承ください。

配信中止はこちらから

<https://nmg.cao.go.jp/cao007/unsubscribe.php>

配信先変更は上記により配信中止の後、こちらから新しいアドレスで登録

<https://nmg.cao.go.jp/cao007/subscribe.php>

バックナンバーはこちらから

<http://wwwa.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/backnumber/index.html>

このメールマガジンへの御意見・御要望はこちらから

<https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0086.html>

内閣府「仕事と生活の調和」推進サイトはこちらから

<http://www.cao.go.jp/wlb/index.html>